



社会 宗像 毎月十五日発行 発行所 宗像大社 福岡県宗像郡玄海町 電話 0940-62-1311 定価 一年送料共 1000円

神具・装束 株式会社 井筒 結婚式場用品 本社 福岡市博多区東公園二丁目一三二番 電話 博多(三六六一)九四五六 宗像(三六六一)九四五六 本店 京都市下京区油小路六条北入(六〇) 電話 京都(〇五)三四一三三四

宗像大社第八十代 宗像大宮司 宗像氏貞公奥津城

宇堂並に顕彰碑建立竣工



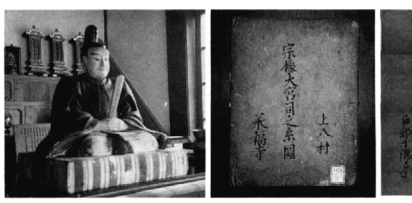
宗像四塚連山の最高峰、湯涌山の麓玄原津を一望する、玄海町上八の風光明媚な丘陵地を奥津城(墓所)として祭られる、当大社第八十代宗像大宮司、宗像氏貞公(二五八六年没)の墓石を保護する宇堂と、功績を顕彰する顕彰碑の建立並に墓所、参道等の整備事業が完了した。

ぶ人々が参列し、墓所内は立錫の余地の無い盛会であった。当日は、前日からの風雨も取まり絶好の日と見做され、早朝から前田地区住民総出による墓所、参道の清掃奉仕、祭場準備、受付案内、直会々場等の諸分拍に誠心誠意をもって奉仕され、地区民の氏貞公に対する崇敬の念の深さに、参列者一同深い感銘を受けた。

引続き、養父宮司、和町長の祝詞、関係者の経過報告、最後に墓所参道住職の御礼の挨拶をもって式典を遂げ、終了した。式典後、参列者一同墓前に於て記念写真撮影を二回に分けて行い、退下の後承福寺と門前公民館に於て斎会(直会)を行い、参列者一同氏貞公と宗像の歴史について、和氣あいあいと語りあひ有為な一刻を過ごし散会した。



宗像氏貞公は室町時代末期に大宮司職を継ぎ、戦乱の世の中で仁徳をもって家臣を統べ、武勇をもって神那宗像の地と民衆を安堵、聖職者としては戦火で消失した、宗像大社本殿の再建の御礼の挨拶をもって式典を遂げ、終了した。



死去が公になると宗像大宮司家の命運も尽き、墓所も当時のままで四百年余の星霜を経て、墓石の風化破壊が進み関係者一同心を痛めていた。氏貞公没後四百年忌に当る昭和二十一年の法要の際に、墓石保存について協議が行われ、翌年五月に氏貞公墓前祭を当主社と承福寺が隔年毎に神式と仏式で奉仕することに新し、この席上で墓石を新に建立する、或は墓石の上に宇堂を建設するかが議られ宇堂建立を行ふこととなった。併せて氏貞公の遺徳の顕彰の上から、墓所が玄海町の史跡に指定されるべく、之を町当局に陳情し玄海町文化財審議会の答申を得て、平成五年に玄海町の史跡に指定された。この指定は墓所復興事業に關係する人々にとって大きな励みとなり、各位の熱心奉賛を得てこの度の慶事が迎えられた。

宇堂と顕彰碑並に参道等の整備の完成をみましたことは、誠に感銘深く本誌上を以ちまして各位の御芳志に衷心より厚く御礼申し上げます。次回より宗像氏貞公の顕彰について各位のお言葉を掲載させていただきます。 『宗像』編集部

大島 目原 節子 大島 野河 英子 池田 小田 しのぶ 盆裁のさつき動かぬ雨蛙色褪せており土埋めむし 城南ヶ丘 中園日出子 厨にて目の醒めぬ早稲朝に夜香樹の香微か漂う 徳重 石松や寿子 祖父よりの固くなりたる布団綿燃ゆる炎を食して見 赤間ヶ丘 松本 澄子 雨後の道いづばいに散り敷ける木犀花路は香の立つ 福岡東 清原 絹代 はげ初めし翁にその子夫婦来てホームの掃除洗濯をなす 原町 八波 五月 守り本尊千の手を持つみづのみ手一つ借り痛む膝な仏 自由ヶ丘 津野 藤子 音もなく朴の一葉の散りにけり眞昼静けは庭草抜く 大島 屋形トミエ 山島の斜面の石階は高く花輝きて夫の足音し 福岡 池浦千鶴子 掃り来るとの子声聞きし受話置く鏡にたはば顔よりはらし 池田 小田 いせ 果の中に嘶入れて啼き疾く二羽のインコを及手に包む 大島 杉田 禮子 五十五才のわが誕生日に子のくれしウォーキングシューズ枕辺におく 福岡 本松 宣子 週二日の禁酒の解けし夫に一夜をゆつくりグラス傾く 鐘崎 安水 久子 商ひに車とせし浜道を歩いてもみぬ店閉して今日

那宗像の地と民衆を安堵、聖職者としては戦火で消失した、宗像大社本殿の再建の御礼の挨拶をもって式典を遂げ、終了した。

氏貞公没後四百年忌に当る昭和二十一年の法要の際に、墓石保存について協議が行われ、翌年五月に氏貞公墓前祭を当主社と承福寺が隔年毎に神式と仏式で奉仕することに新し、この席上で墓石を新に建立する、或は墓石の上に宇堂を建設するかが議られ宇堂建立を行ふこととなった。併せて氏貞公の遺徳の顕彰の上から、墓所が玄海町の史跡に指定されるべく、之を町当局に陳情し玄海町文化財審議会の答申を得て、平成五年に玄海町の史跡に指定された。この指定は墓所復興事業に關係する人々にとって大きな励みとなり、各位の熱心奉賛を得てこの度の慶事が迎えられた。

宇堂と顕彰碑並に参道等の整備の完成をみましたことは、誠に感銘深く本誌上を以ちまして各位の御芳志に衷心より厚く御礼申し上げます。次回より宗像氏貞公の顕彰について各位のお言葉を掲載させていただきます。 『宗像』編集部

「信仰」と云う言葉を見たり聞いたりすると、直ぐに「神様・仏様」を連想されるでしょう。「神仏」を対象にして「信仰」が成立しないと考えるのは、当然のことでしょう。しかし、今一度、心の目を大きく見開いて下さい。『親孝行』と云う言葉がありまして、例えは、親不孝をして来た人が、結婚をして子供が出来て、生まれた子を育てているうちに、ふと自分自身も木の様に老弱して、手塩をかけて育てられて来たのだと気づき、親のことを思い出して「これからは親に心配や迷惑を掛けまい、安心して喜んでもらおう。」と改心し、この気持ちで、心がけを怠らぬに努めるならば、これも一つの「親孝(しんこう)」です。『信仰』とは何か、「神様」はどうだとか、「仏様」はどうだとかいっているのを言う前に、広辞苑で「しん」や「こう」と読む字を聞いて見て下さい。共に沢山あります。

「しん」と「こう」を組合せて熟語を作ってみては：『親孝・心回・神元』『心光』『親交』『真孝』等いくつも出来ます。現在の自分自身にどんな「しん」が、都合か、必要であるのか、その出来た熟語を墨書にでもして壁にでも貼りつけ、理屈を抜きに毎日毎日手を合わせ実行し、やり通せたら「神様・仏様」に自然と「神様・仏様」に向って手を合わせる事が出来るでしょう。「まことのしんあわせ」をつかんだ人を「しんこう者」と云えるのではないのでしょうか。

大島 目原 節子 大島 野河 英子 池田 小田 しのぶ 盆裁のさつき動かぬ雨蛙色褪せており土埋めむし 城南ヶ丘 中園日出子 厨にて目の醒めぬ早稲朝に夜香樹の香微か漂う 徳重 石松や寿子 祖父よりの固くなりたる布団綿燃ゆる炎を食して見 赤間ヶ丘 松本 澄子 雨後の道いづばいに散り敷ける木犀花路は香の立つ 福岡東 清原 絹代 はげ初めし翁にその子夫婦来てホームの掃除洗濯をなす 原町 八波 五月 守り本尊千の手を持つみづのみ手一つ借り痛む膝な仏 自由ヶ丘 津野 藤子 音もなく朴の一葉の散りにけり眞昼静けは庭草抜く 大島 屋形トミエ 山島の斜面の石階は高く花輝きて夫の足音し 福岡 池浦千鶴子 掃り来るとの子声聞きし受話置く鏡にたはば顔よりはらし 池田 小田 いせ 果の中に嘶入れて啼き疾く二羽のインコを及手に包む 大島 杉田 禮子 五十五才のわが誕生日に子のくれしウォーキングシューズ枕辺におく 福岡 本松 宣子 週二日の禁酒の解けし夫に一夜をゆつくりグラス傾く 鐘崎 安水 久子 商ひに車とせし浜道を歩いてもみぬ店閉して今日



「信仰」と云う言葉を見たり聞いたりすると、直ぐに「神様・仏様」を連想されるでしょう。「神仏」を対象にして「信仰」が成立しないと考えるのは、当然のことでしょう。しかし、今一度、心の目を大きく見開いて下さい。『親孝行』と云う言葉がありまして、例えは、親不孝をして来た人が、結婚をして子供が出来て、生まれた子を育てているうちに、ふと自分自身も木の様に老弱して、手塩をかけて育てられて来たのだと気づき、親のことを思い出して「これからは親に心配や迷惑を掛けまい、安心して喜んでもらおう。」と改心し、この気持ちで、心がけを怠らぬに努めるならば、これも一つの「親孝(しんこう)」です。『信仰』とは何か、「神様」はどうだとか、「仏様」はどうだとかいっているのを言う前に、広辞苑で「しん」や「こう」と読む字を聞いて見て下さい。共に沢山あります。

大島 目原 節子 大島 野河 英子 池田 小田 しのぶ 盆裁のさつき動かぬ雨蛙色褪せており土埋めむし 城南ヶ丘 中園日出子 厨にて目の醒めぬ早稲朝に夜香樹の香微か漂う 徳重 石松や寿子 祖父よりの固くなりたる布団綿燃ゆる炎を食して見 赤間ヶ丘 松本 澄子 雨後の道いづばいに散り敷ける木犀花路は香の立つ 福岡東 清原 絹代 はげ初めし翁にその子夫婦来てホームの掃除洗濯をなす 原町 八波 五月 守り本尊千の手を持つみづのみ手一つ借り痛む膝な仏 自由ヶ丘 津野 藤子 音もなく朴の一葉の散りにけり眞昼静けは庭草抜く 大島 屋形トミエ 山島の斜面の石階は高く花輝きて夫の足音し 福岡 池浦千鶴子 掃り来るとの子声聞きし受話置く鏡にたはば顔よりはらし 池田 小田 いせ 果の中に嘶入れて啼き疾く二羽のインコを及手に包む 大島 杉田 禮子 五十五才のわが誕生日に子のくれしウォーキングシューズ枕辺におく 福岡 本松 宣子 週二日の禁酒の解けし夫に一夜をゆつくりグラス傾く 鐘崎 安水 久子 商ひに車とせし浜道を歩いてもみぬ店閉して今日

大島 目原 節子 大島 野河 英子 池田 小田 しのぶ 盆裁のさつき動かぬ雨蛙色褪せており土埋めむし 城南ヶ丘 中園日出子 厨にて目の醒めぬ早稲朝に夜香樹の香微か漂う 徳重 石松や寿子 祖父よりの固くなりたる布団綿燃ゆる炎を食して見 赤間ヶ丘 松本 澄子 雨後の道いづばいに散り敷ける木犀花路は香の立つ 福岡東 清原 絹代 はげ初めし翁にその子夫婦来てホームの掃除洗濯をなす 原町 八波 五月 守り本尊千の手を持つみづのみ手一つ借り痛む膝な仏 自由ヶ丘 津野 藤子 音もなく朴の一葉の散りにけり眞昼静けは庭草抜く 大島 屋形トミエ 山島の斜面の石階は高く花輝きて夫の足音し 福岡 池浦千鶴子 掃り来るとの子声聞きし受話置く鏡にたはば顔よりはらし 池田 小田 いせ 果の中に嘶入れて啼き疾く二羽のインコを及手に包む 大島 杉田 禮子 五十五才のわが誕生日に子のくれしウォーキングシューズ枕辺におく 福岡 本松 宣子 週二日の禁酒の解けし夫に一夜をゆつくりグラス傾く 鐘崎 安水 久子 商ひに車とせし浜道を歩いてもみぬ店閉して今日

宗像大社歌会詠草



宗像大社歌会 俳句作品集(三六五)

ひかりヶ丘 南 風生
冬霧やとり残されし無蓋貨
車

若松 井手 清隆
藍染のアトリエ瀧酒秋桜

藤沢 井上 玄洋
鳴り渡る鐘の音牙ゆ遊歩道

福岡 高橋辰次郎
鶉等は雨の刈田に群がれる

福岡 森 清
月光や目を細め犬語りかく

福岡中央 力丸 玄風
幼はや自我のさざしや障子
穴

田熊 力丸 一郎
年毎に逸品揃ふ菊花展

自由ヶ丘 細川 桐子
肌寒を背におぼゆる輪かな

二礼 花田いつえ
日の里 花田いつえ
三 二礼 拍手を添へ拝す七五



〔ご案内〕

平成六年正月祭

社頭授与品並びに諸祈願祭齋行

平成六年正月に当大社の社頭に於て、初詣の皆様にご授与致します。縁起守等のご案内を、紙面を以て紹介させていただきます。

宗像犬大(一对)

初穂料 一対 三〇〇〇円

当大社社主「木造犬大」(重要文化財)を約五分の一に縮小したミニチュアで、博多人形師に製作していただいております。

この犬大は、当大社社頭前に奉安されてきた伝えられています。

朝鮮半島から伝来した「高麗犬」の様式を有する特異な面貌や、頭部の珍髪にみる独特な表現、右側犬大は額に獅子化右犬の名残をとどめる一角を有するなど、犬大としては極めて珍しい姿のもので、通称「宗像犬大」として有名です。姿態に逞しい力と強靱な肉体を表現しており、素朴で豪快な重量感にあふれる鎌倉時代の名品です。

では伊勢の名匠に製作を依頼、二千体を一年がかりで奉製していただいております。

この「一刀彫」は、毎年元旦を期して授与している縁起守です。クスの木を材料にその年の干支を、一本のノミだけで奉製することから「一刀彫」と称します。当大社

干支(二刀彫)

初穂料 一対 二、〇〇〇円

この「一刀彫」は、毎年元旦を期して授与している縁起守です。クスの木を材料にその年の干支を、一本のノミだけで奉製することから「一刀彫」と称します。当大社

この「福みくじ」、近年は皆様の初詣の楽しみとてますます定着しており、授与終了の時間は年々早くなってまいります。来年は本年より一万余体ほどふやし、賞品は特賞から八等賞迄の各賞毎に、御輿置物、末広花車、特製福迎え、金杯、干支土鈴セット、家庭・レジャー用品、ぬいぐるみ、玩具などさまざまの品をたくさん準備いたしました。受けられた方々には必ず賞品を授与致します。是非ご参拝の折にはその年の運勢を占っていただきますようご案内致します。

この「福みくじ」、近年は皆様の初詣の楽しみとてますます定着しており、授与終了の時間は年々早くなってまいります。来年は本年より一万余体ほどふやし、賞品は特賞から八等賞迄の各賞毎に、御輿置物、末広花車、特製福迎え、金杯、干支土鈴セット、家庭・レジャー用品、ぬいぐるみ、玩具などさまざまの品をたくさん準備いたしました。受けられた方々には必ず賞品を授与致します。是非ご参拝の折にはその年の運勢を占っていただきますようご案内致します。

この「福みくじ」、近年は皆様の初詣の楽しみとてますます定着しており、授与終了の時間は年々早くなってまいります。来年は本年より一万余体ほどふやし、賞品は特賞から八等賞迄の各賞毎に、御輿置物、末広花車、特製福迎え、金杯、干支土鈴セット、家庭・レジャー用品、ぬいぐるみ、玩具などさまざまの品をたくさん準備いたしました。受けられた方々には必ず賞品を授与致します。是非ご参拝の折にはその年の運勢を占っていただきますようご案内致します。

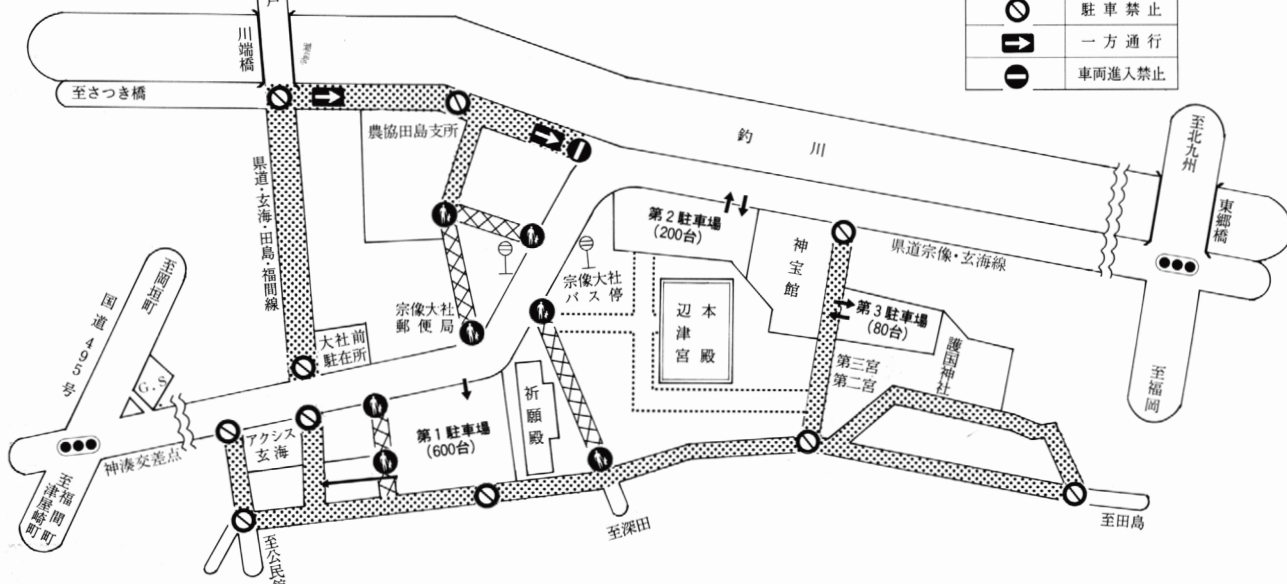
この「福みくじ」、近年は皆様の初詣の楽しみとてますます定着しており、授与終了の時間は年々早くなってまいります。来年は本年より一万余体ほどふやし、賞品は特賞から八等賞迄の各賞毎に、御輿置物、末広花車、特製福迎え、金杯、干支土鈴セット、家庭・レジャー用品、ぬいぐるみ、玩具などさまざまの品をたくさん準備いたしました。受けられた方々には必ず賞品を授与致します。是非ご参拝の折にはその年の運勢を占っていただきますようご案内致します。



宗像大社初もうで交通規制のお知らせ

12月31日午後9時から1月1日午後9時まで
規制日時 1月2日～1月5日までの午前9時から午後9時まで
(交通の状況により、規制時間等を変更することがあります。)

凡	例
↓ ↑	駐車場出入口
Ⓜ	歩行者用道路
Ⓝ	駐車禁止
Ⓜ	一方通行
Ⓝ	車両進入禁止



社務日誌抄

- 十一月一日 月次祭
北九州コカコーラボトリング(株)宗像営業所二十七名参拝
第三回西日本菊花大会開催(二十日迄)
第七回宗像名刀展開催(二十三日迄)
- 十一月二日 明治祭
第二十二回奉納秋季剣道大会
第十九回奉納吟詠詩舞道大会
- 十一月四日 日ノ里自治公民館百二十名参拝
十一月五日 福岡県立高等学校新任教師十五名研修のため来社
出光興産(株)昭和二十六年入社同期会十四名参拝
十一月七日 第十九回奉納柔道大会
十一月八日 長崎県上田グループ村田氏参拝
十一月九日 第七管区海上保安部長大西一實氏外三名参拝
十一月十日 出光興産(株)庫製油所副所長佐藤昭雄氏外一名参拝
十一月十日 出光興産(株)所長長谷川徹氏外一名参拝
十一月十四日 江ノ島神社相摩司外一名、真清田神社北島氏、宗像氏外七名参拝
十一月十七日 第八十代宗像大宮宗像氏貞公墓所宇並並顯彰碑落慶法要(辰巳氏) 賀賀会、津波奉養会、賀賀会、地元祭(正月用注連縄調整作業奉仕)
十二月二日 宗像PTA婦人会二十名参拝
十二月八日 第一千回宗像本因坊戦
十二月二十日 奉納盆義演反骨会
- 十一月十五日 月次祭
三重県四日市博物館学芸員堀越氏来社
第四十七期出光興産(株)店主室教育研修開始
十一月十六日 小都市日吉神社多田宮司、小都市史編纂執筆委員田中一朗氏外十二名参拝
十一月十七日 財団法人オイスカ産業開発協力団西日本研修センター推進員大坪篤生氏、日本写真文化協会理事大倉啓義氏参拝
十一月十八日 出光興産(株)総務部次長村上幸氏、総務部課長福地千秋氏来社
十一月十八日 北九州歴史博物館学芸員有川氏来社
十一月十九日 第四十七期出光興産(株)店主室教育研修終了
十一月二十日 岩田屋コミュニティカレッジ一行二十名来社
十一月二十一日 古式祭打合せ会
十一月二十二日 出光興産(株)門司油槽所百二十四名参拝
十一月二十二日 宗像大社氏外七名参拝
十一月二十二日 宗像大社氏外七名参拝